



登米市教育支援センターだより

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字袋向 150-1

TEL 0220-22-8029 FAX 0220-22-9114



NHKの連続テレビ小説「おかえりモネ」が5月から放送が開始されました。登米市の森と気仙沼の海が、モネの空への夢でつながれているようです。フートピア公園の風車や架空の迫川小学校の教室の場面もあり、普段の日常が全国放送されているようで、毎日朝から誇らしく元気が湧いてきそうです。

初任者研修会



登米尋常高等小学校前での記念撮影：参加者37名

＜趣旨＞登米市内の歴史文化施設や防災等の体験研修及び見学を通して、登米市への理解を深め、今後の児童・生徒の指導に役立てる。

期間：令和3年5月25日（火）

見学先：南方町大嶽山興福寺、石ノ森章太郎ふるさと記念館、教育資料館見学並びに講話、登米寺池通り等の自主研修

講師 興福寺住職 嶽内 真弘 氏
仙台大学教授 伊達 宗弘 氏

＜研修アンケートから＞

研修を通して、登米の歴史やこれまでの歩みに理解を深めることができた。また、班ごとに資料館などを巡ったことで、登米市に対する興味をさらに持つことができた。研修で得たことをもとに、子供たちの郷土愛を育てていきたい。

今回の研修で登米市を築き上げた先人たちのことを学ぶことができた。このことは人間が人間らしく生きるために必要なことだと思うので、登米市の将来を担う子供たちにこれから伝えていくようにしたいと思う。

ICT活用研修会

日時：令和3年6月24日 会場：佐沼中学校

＜趣旨＞幼小中Webページの適切な構築と運用についての理解を深め、効果的な情報発信ができるようにする。

「ギガスクール構想がめざすもの」佐藤所長

「GWEの適切な運用と活用」千葉サポーター

「実践事例の紹介」金 洋太 教諭

「ICT支援について」ALSIより

＜研修アンケートから＞

時間の限られた中で、実践例など聞くことができ、とても参考になった。自分自身わからないことが多いが、活用できるようになりたい。

学校のICT活用が大きく変化する。教師も新しいことに挑戦しなければならないと思う。今年度は、PTA・職員ページの活用に挑戦したい。

動画を視聴し、今後のタブレット導入の流れや新しいネットコモンズの仕組みについて理解することができた。Google workspace for educationの活用について、見直しをもって職員・保護者・児童に普及させていきたい。

一人一台のiPadが導入されて、できる様々なことについて、紹介していただいて、とても勉強になった。

既に活用している学校の事例には様々な工夫があって、もっとじっくりと聴いたり操作したりできると良かった。いずれにしろ使いながら覚えるために、教師が積極的に取り組むことが必要だと思う。